



Subaru

男声合唱団

ニュース№371

‘12. 08. 25

薰くん誕生おめでとう！

静さんがんばりました！

□ 8月8日17時2分、3464グラムのビッグな男の子が生まれました。

お陰様で安産で、母子共に元気です♡

昴の皆様にはまだどなたにも連絡ができていません

ので、無事出産をお伝え下さると嬉しいです♡

よろしくお願ひ致します✿ (乾さんへのメールから)

・・・・・・・・・・・・

□名前が決まりました。薰くんです ❤

(長男が光くん、次男が薰くん、ひょっとして源氏物語から✿？)

(写真転送が下手で、掲載が遅れましたことをお詫び申し上げます。編集部)



前号から続く

8月21日（月）

東日本大震災復興支援

IN 陸前高田＆大船渡

「私の好きなこの街コンサート Part 2」

□「私の好きなこの街支援合唱団」は、前々日、前日の伝承館、第一中に引き続き、8月21日（月）に大船渡の特別養護老人ホーム「富美岡荘」で「私の好きなこの街コンサート Part 2」を開催しました。

□「富美岡荘」は去年に引き続き2回目の訪問ですが、この日は「8月誕生会」の日、丁度いいというこ



とで、「私の好きなこの街コンサート Part 2」がメインゲストとなり、大歓迎されました。

□プロローグで混声合唱「私の好きなこの街」を歌い、「**私の好きなこの街コンサート パート2へ ようこそ！**」と、両手を広げる同じパフォーマンス、客席から「イエーイ！」と大拍手が返り（今日も元気いっぱいの職員のお姉さんたちがいるのです）開幕しました。会場は200人の超満員になりました。

プログラム

第1部

誕生日おめでとうと歓迎の挨拶 山崎シゲ会長

司会 石橋章一 村嶋由紀子
ピアノ 森二三

プロローグ 私の好きなこの街支援合唱団

- ・私の好きなこの街
- ・ハッピイバースデイ to みなさん！

男声合唱団「昴」 指揮 本並美徳

- ・歓びのナーダム
- ・林道人夫 ソロ 奥村克美
- ・百万本のバラ ソロ 檀 美知生
- ・ねがい
- ・川の流れのように

第2部

・みんな歌う会 司会 乾 正明 立川孝信
・岩手県の手あそびうた 相根さかゑ

第3部 混声合唱 指揮 檀美知生

- ・海に生きたあなたよ
- ・おらあこごがいい
- ・フィンランディア

アンコール

- ・気仙大工・左官伝承館の歌

挨拶

- ・入所者代表のおばあちゃん
- ・昴 千秋昌弘団長
- ・山崎シゲ会長

皆さんと一緒に ・故郷



□歌う会では一番元気のいい立派な体格の職員のお姉さん（去年からのニックネームは“それ！アンコール！！のお姉さん”）にマイクを握ってもらい「北国の春」でいい喉を披露してもらいました。

□司会は、前日に引き続き、石橋さんと村嶋さんの親しみのある「こてこて関西弁」コンビ。皆さんの顔が思わずほころびました。

□お誕生日の7人に永井さんから「絵手紙うちわ」をプレゼントしました。ほかに施設宛てに永井さんの著作「こころのかけはし」の本とうちわを贈呈しました。

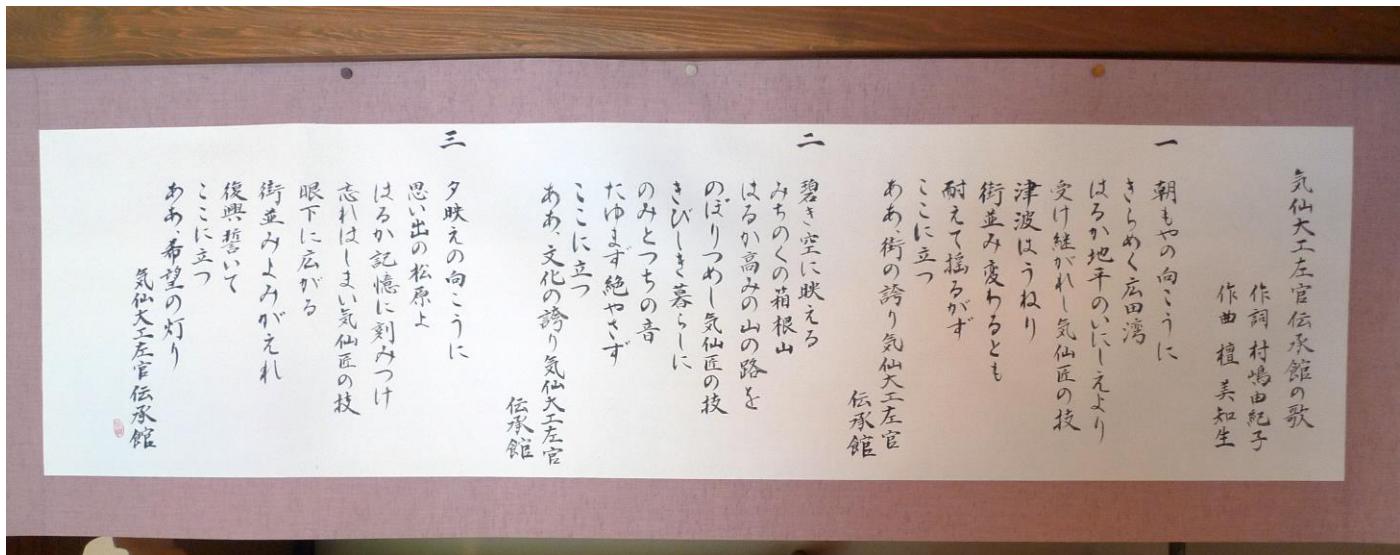
□昼食は会議室をお借りしてお弁当を使わせてもらうようお願いしておいたところ、お菓子お茶などのほかに、お弁当まで富美岡荘でおごっていただくことになり、そのうえカンパまで頂戴しました。これでは逆ですが、喜こんでいただいたお心とありがたくお世話になることにしました。女傑の山崎会長さんからは「年をとると涙もろくなつて・・・」と感謝の言葉も頂戴しました。

□差し入れといえば、昨日から、かのんちゃんのおばあちゃん、「AMY」のお父さん、新沼さん夫妻からお菓子やお茶のボトル、缶コーヒーなどを沢山頂戴しました。お気を使っていただきありがとうございました。

「おらあこごがいい」と「気仙大工・左官伝承館の歌」のこと

□前回支援訪問した時は、「おらあこごがいい」（陸前高田のタクミ印刷社長の熊谷さんの原詩、村嶋由紀子さん編詞、檀美知生さん作曲）は檀さんのソロで披露し、会場が涙しました。今回は当地では初めて合唱版で歌い、また、新たに今回、村嶋由紀子作詞・檀美知生作曲になる「気仙大工・左官伝承館の歌」も初めて合唱で披露しました。伝承館の館長さん、会長さんからこもごも感謝の言葉をいただきましたが、ジャンボ高橋さんからも、合唱で聞くとひときわ良いと感想を頂戴しました。

□檀・村嶋夫妻と親しい書家 春山和楸さんの筆になる「気仙大工・左官伝承館の歌」詩額を夫妻が伝承館

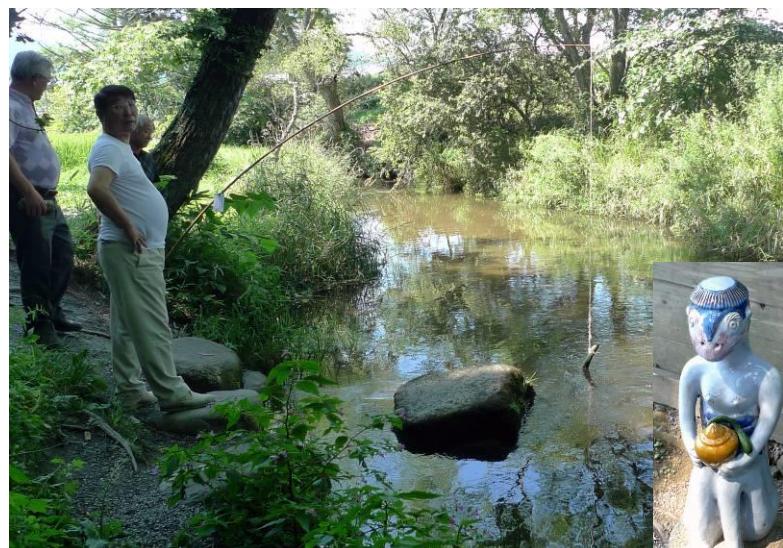


に寄贈、これが飾られていました。

「遠野」観光をしながら帰路につきました

□仙台空港に遅れずに到着しなければならないので、ほんの少ししか時間がとれませんでしたが、帰路に遠野物語の遠野観光をしました。

□観光ガイドの細越沢さん（編集子が去年の公演の帰りに観光に立ち寄り、親しくなりました）の遠野弁まるだしの名案内で、猛暑の中、駆け足でしたが「かっぱ淵」と「ふるさと村」を回りました。ガイドさんも言っていましたが、今度は時間を取ってゆっくり回つて下さい。「遠野時間」という言葉もある通り、のんびりした、宮沢賢治のいう「イーハトーブ」（理想郷）になぞらえられる、どこかなつかしい日本の原風景の農山村です。



カッパはキュウリが好物

□欠員が出たため急きょ参加の協力をいただいた、坂口さん、コンサートでの会場設営、受付など進んでサポート役を果たしていただき、助かりました。最後まで同道していただきありがとうございました。また、同じく急な参加を受けていただいた近藤和子さん、支援に参加出演いただきありがとうございました。



□曲がり家。左は馬が住む。娘が馬を可愛いがり、馬が娘になつきすぎる昔ばなしは多い。



□話題になった
「ひがんばな？」
「夏水仙？」
「アマリリスベラ
ンナ？」

□仙台空港に時間通り到着、ジャンボ高橋夫人手づくりの「山形だし」を全員にお土産にいただきました。大勢分だったので作るのに大変だったとのこと。珍しい心のこもった土産をありがとうございました。ここで、飛行機組とお別れ。お疲れ様でした。

□その後、バスはジャンボ高橋さんの車の先導により「秋保温泉」に向かいました。ラッシュ時なので、裏道を選んでの先導がなければ、なかなか秋保まで着けなかつたと思います。「秋保グランドホテル」に、計画通り19時00分に1分の狂いもなく到着したときには全員賞賛の拍手！

□ここで、ジャンボさんが持参してくれた電子ピアノ他をバスからジャンボ車に積み替えました。ジャンボさんには前回もそうでしたが、音響機器のお世話、設置のみならず、道案内、打ち上げでの総合司会、地酒、前沢牛の刺身、筋子の差し入れ、奥様から手づくりお土産までいただくなど、一方ならぬお世話になりました。感謝にたえません。本当にありがとうございました。

□お礼が前後して申し訳ありませんが、ピアノの早川菜穂子さん、音響・SEをしていただいた吉竹雅弘さん、遠路のご参加ありがとうございました。おかげさまで大成功のコンサートになりました。

□「秋保グランドホテル」では、「夕食バイキング・温泉・大広間休憩つき」を予約しており、2時間ほどゆっくり疲れを落としました。月曜日なのに家族連れなど大勢の客で込んでいてびっくりしました。温泉は名湯、バイキングは種類も豊富でまあまあだったのではないでしょうか。



帰路のバス、全員ではありません

□さあ、バス組は、一路大阪へ向かって帰路につきました。お二人の運転手さん、往復が夜行で、間の日も忙しく使いまわした格好になりましたお大変でした。でも、マイクが回ると、「感動、感動の5日間でした。また機会があればご一緒にしたい」とうれしい挨拶を返してくれました。

□行き帰り夜行バスに揺られての皆さん、たいへんたいへんお疲れ様でした。行きのバスでは、少々体調に心配な事件もありましたが、幸いすぐ回復して、帰りは全員無事元気に大阪駅にたどり着きました。みなさんなかなかの体力で結構でした。

□檀さん村嶋さんとは自家用車で積んでこられた機材とともに、富美岡荘でお別れしましたが、今回も何から何まで渾身のお世話にあずかり、また、今回は各方面から補助までも取り付けて、諸経費に回していただきました。一同、今回も経済面も含めてお世話になり、貴重な経験と勇気を得られたのはひとえにご両人の奮闘のおかげにあずかってのことです。ありがとうございました。心から御礼申しあげます。